

良品生産へ生育調査

温州ミカン 満開早まる

三重・JA伊勢管内

【三重・伊勢】JA

伊勢管内の熊野市・御浜町・紀宝町で24日、温州ミカンの開花調査を行った。県、市町、JA全農みえ、JA伊勢などの関係者約15人

が参加した。管内の海岸部、山間部で条件の異なる園地6カ所を巡り、花の開花状況、着花量、新芽の量などを確認した。

開花調査は、調査内容を基に今年産のかんきつ栽培の方向性を決める重要な作業となる。3月から4月にかけて気温が高めに推移

したことから、満開は海岸部で24日、山間部で29日前後と平年より8日早くなった。

同JA営農柑橘(かんきつ)グループは、温州部会員約560人を対象にした温州ミカン管理講習会を計4カ所で開き、「適期に遅れることなく基本の管理作業を徹底して行い、これから摘果剤など効果的に使うためにも樹勢を維持しよう」と呼びかけた。

JAの担当者は「1月の降雪により、春先の木の状態が心配されたが、花、芽ともに良い状況になっている。開花が早まったことから、これからの作業などが遅れないようしっかりと周知していきたい」と話した。



温州ミカンの開花調査をするJA営農指導員と関係者ら